

ORCAMOクラウド クライアント証明書自動更新

- 本資料更新日：2020年5月1日
- 本資料はORCAMOクラウド クライアント証明書自動更新機能をまとめたものです。
- クライアント証明書は有効期間が3年となっているため、更新が必要です。
- 自動更新機能は、自己のクライアント証明書を用いて、更新をおこなう仕様のため、期限切れ前に更新をおこなう必要があります。
- 更新せず有効期限切れとなった場合、各サービスが利用できなくなりますので、ご注意ください。また、期限切れ後にクライアント証明書を更新する場合は、別途クライアント証明書を受取り現地でインストール作業が必要です。
- ご利用の端末のうちクライアント証明書が更新されているものがあれば、その端末で管理画面から失効した端末のクライアント証明書を取得することは可能ですが、失効した端末へのインストール作業は必要になります。

ORCAMOクラウド クライアント証明書自動更新

- 更新可能な証明書

- CNが clientXXX のクライアント証明書、および dbXXX のDB接続サービス用証明書

- 更新対象外の証明書

- CNがapiXXXやbackupXXX のクライアント証明書

※

過去にAPI用、バックアップサービス用として配布していた証明書です。

現在はAPI、バックアップサービスもすべてclientXXXにて発行しています。

いま現在、CNがapiXXXやbackupXXX のクライアント証明書を利用されている場合は、更新対象となりませんので、ご注意ください。

- 参考：CNの確認方法

- 拡張子が.crtファイルをダブルクリックすると、証明書画面が表示されます。

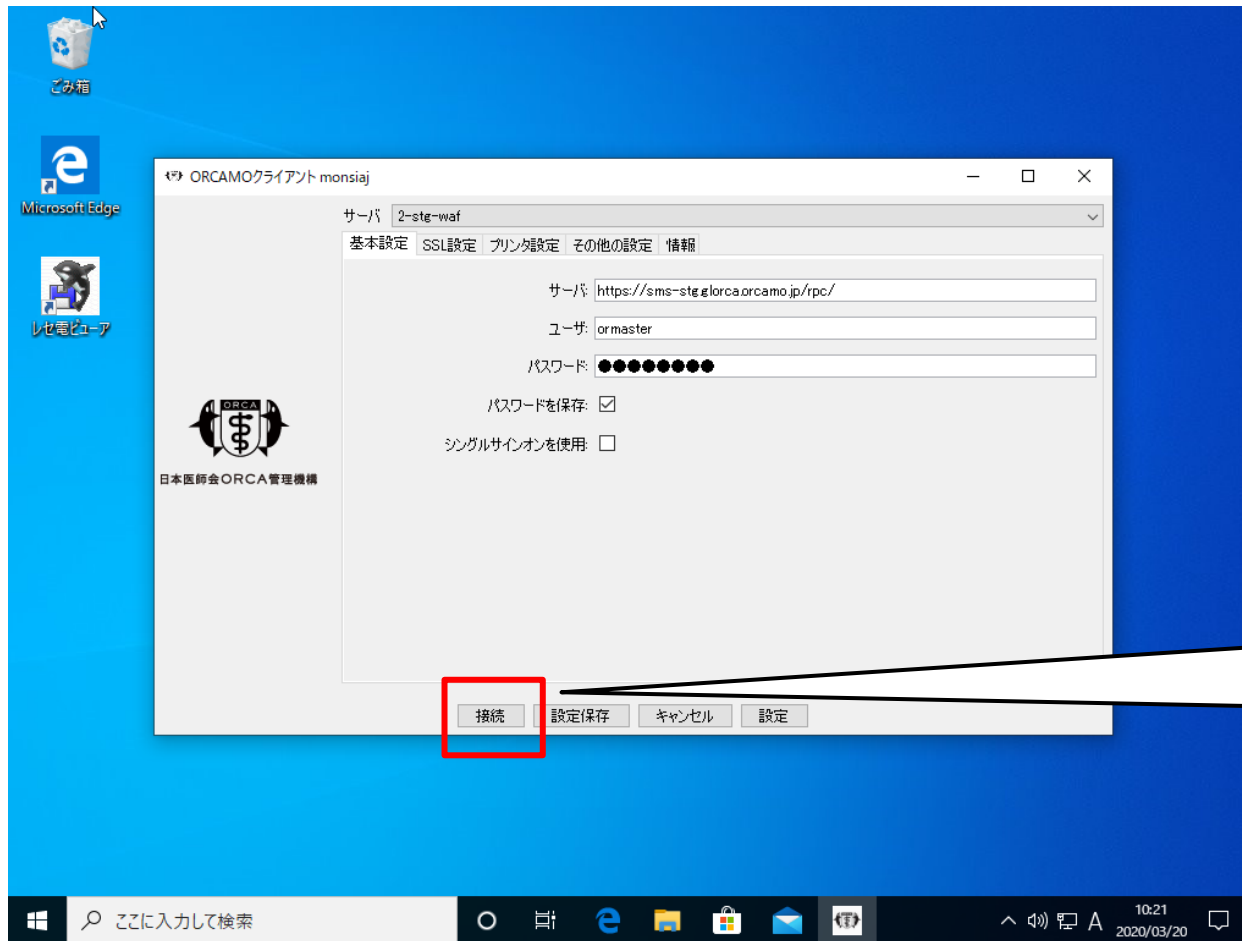
- 詳細タブのフィールド名：サブジェクトをクリックすると、CNが確認可能です。

日セクラウド

- ORCAMOクライアント(monsiaj)
 - 自動更新機能を実装したバージョン：2.0.26(2020年3月26日提供の) 以降
 - 有効期限が残り2ヶ月となった場合、更新ダイアログが表示される
 - 画面の誘導に従っていけば更新可能
 - 証明書は%userprofile%\monsiaj\certificatesに保存され、monsiajの証明書設定も自動更新される
 - 自動更新後は、パソコン故障等による証明書紛失に備え、以下のフォルダおよびファイルのバックアップを取得すること
 - %userprofile%\monsiaj\certificates フォルダ
 - %userprofile%\monsiaj\ monsiaj.jsonrpc.properties ファイル

日レセクラウド

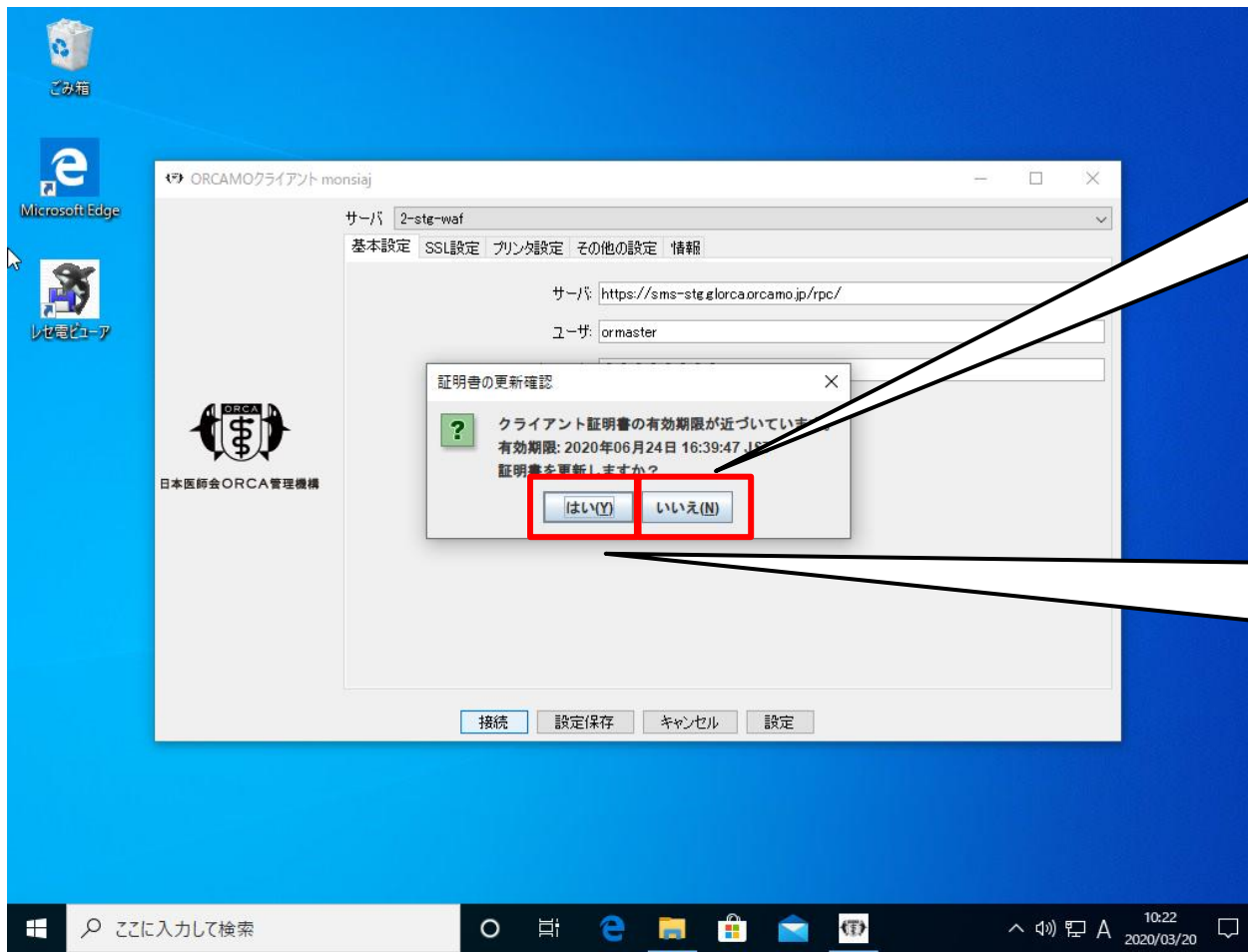
- ORCAMOクライアント(monsiaj) での画面遷移(ランチャー)



接続ボタンを押下

日レセクラウド

- ORCAMOクライアント(monsiaj) での画面遷移(更新確認画面)

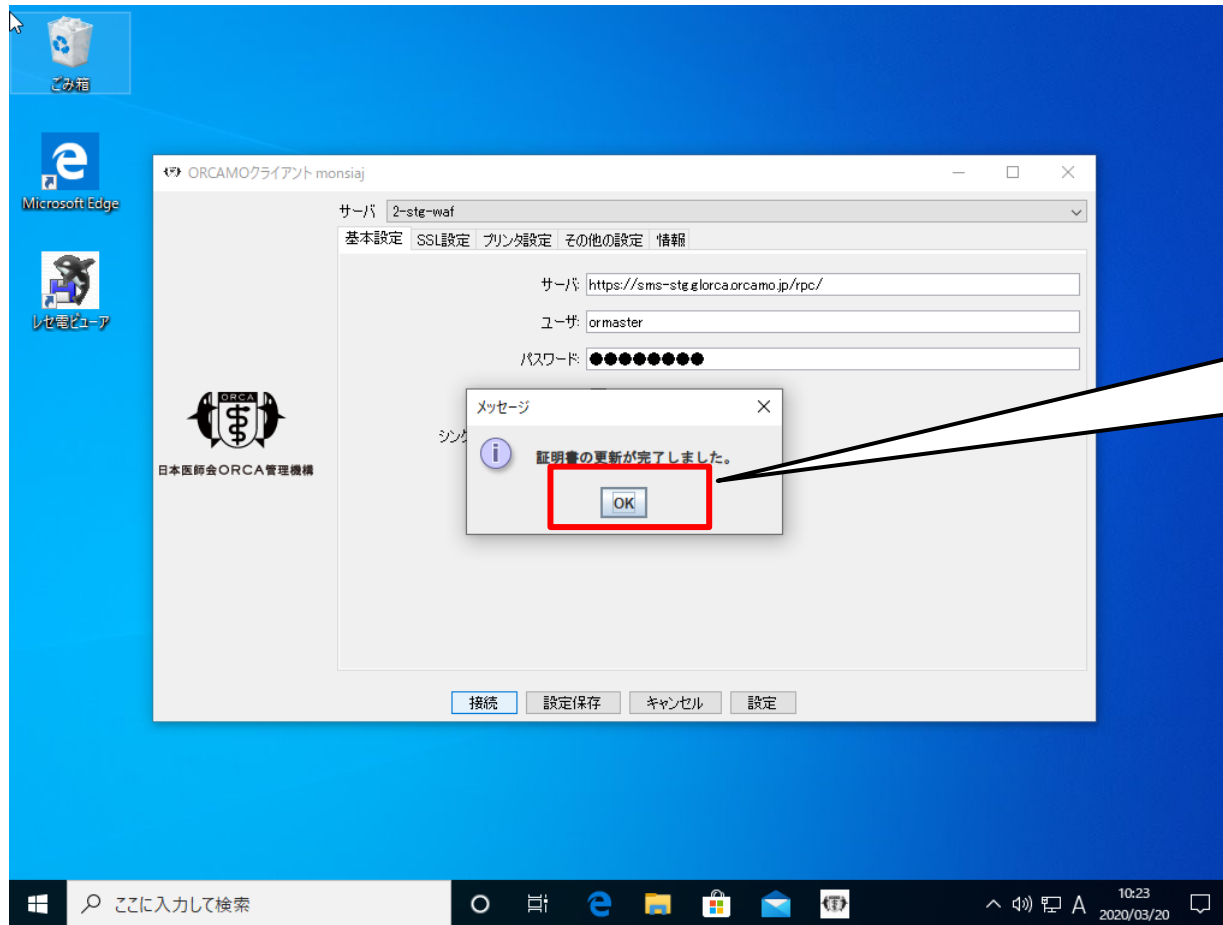


「いいえ」ボタンを押下した場合は、クライアント証明書の更新は起こわず、そのまま日レセクラウドが起動します

クライアント証明書を更新する場合は「はい」ボタンを押下

日レセクラウド

- ORCAMOクライアント(monsiaj) での画面遷移(証明書更新完了画面)



クライアント証明書の更新が完了し、OKボタンを押下すると日レセクラウドが起動します

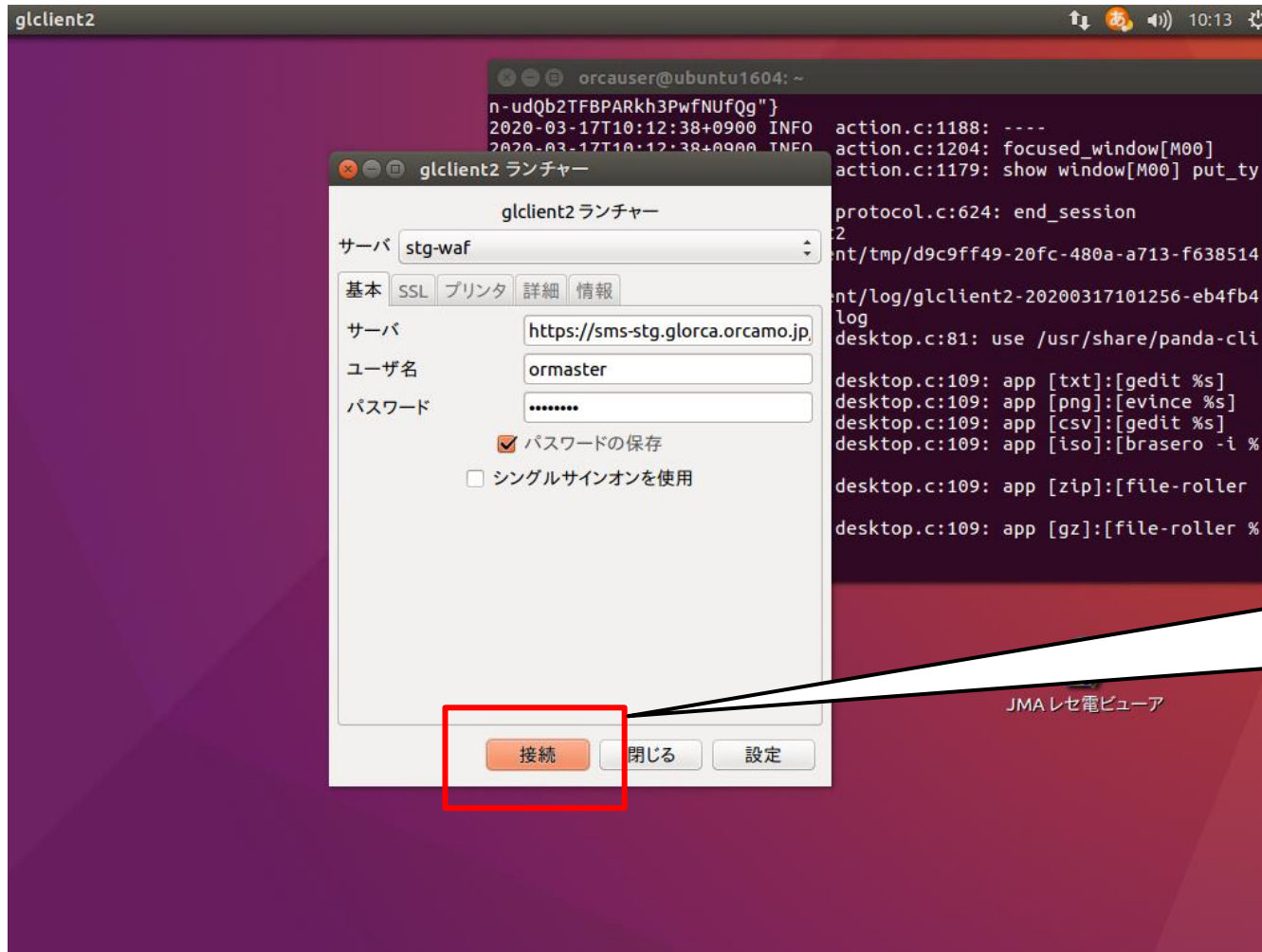
日レセクラウド

- glclient2

- 自動更新機能を実装したバージョン：3.0.0+p25(2020年3月16日提供の) 以降
- 有効期限が残り2ヶ月となった場合、更新ダイアログが表示される
- 画面の誘導に従っていけば更新可能
- 証明書は~/glclient2/certificatesに保存され、glclient2の証明書設定も自動更新される
- 自動更新後は、パソコン故障等による証明書紛失に備え、以下のフォルダおよびファイルのバックアップを取得すること
 - ~/glclient2/certificates フォルダ
 - ~/glclient2/config.json ファイル

日レセクラウド

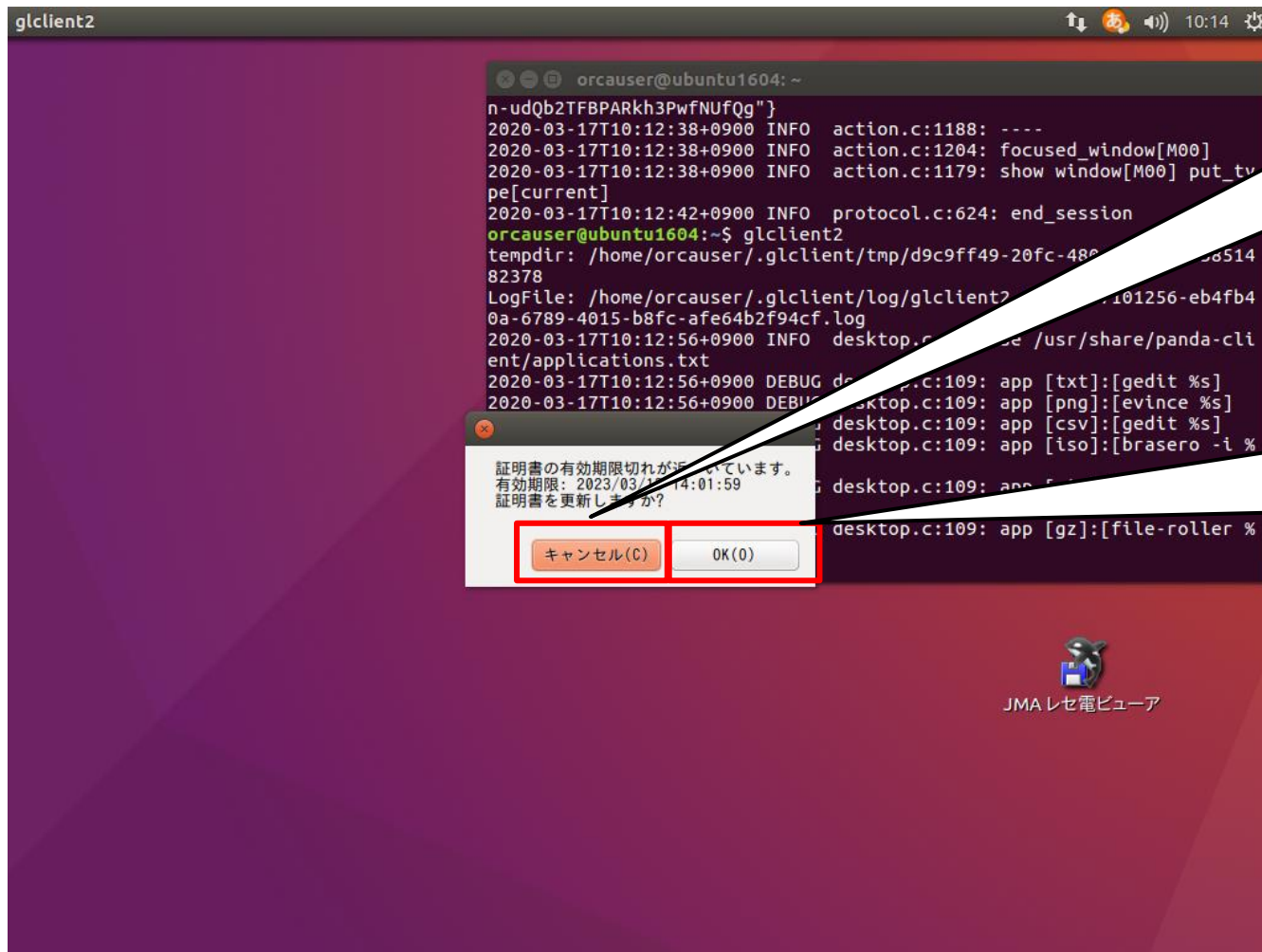
- glclient2 での画面遷移(glclient2ランチャー)



接続ボタンを押下

日レセクラウド

- glclient2 での画面遷移(更新確認画面)

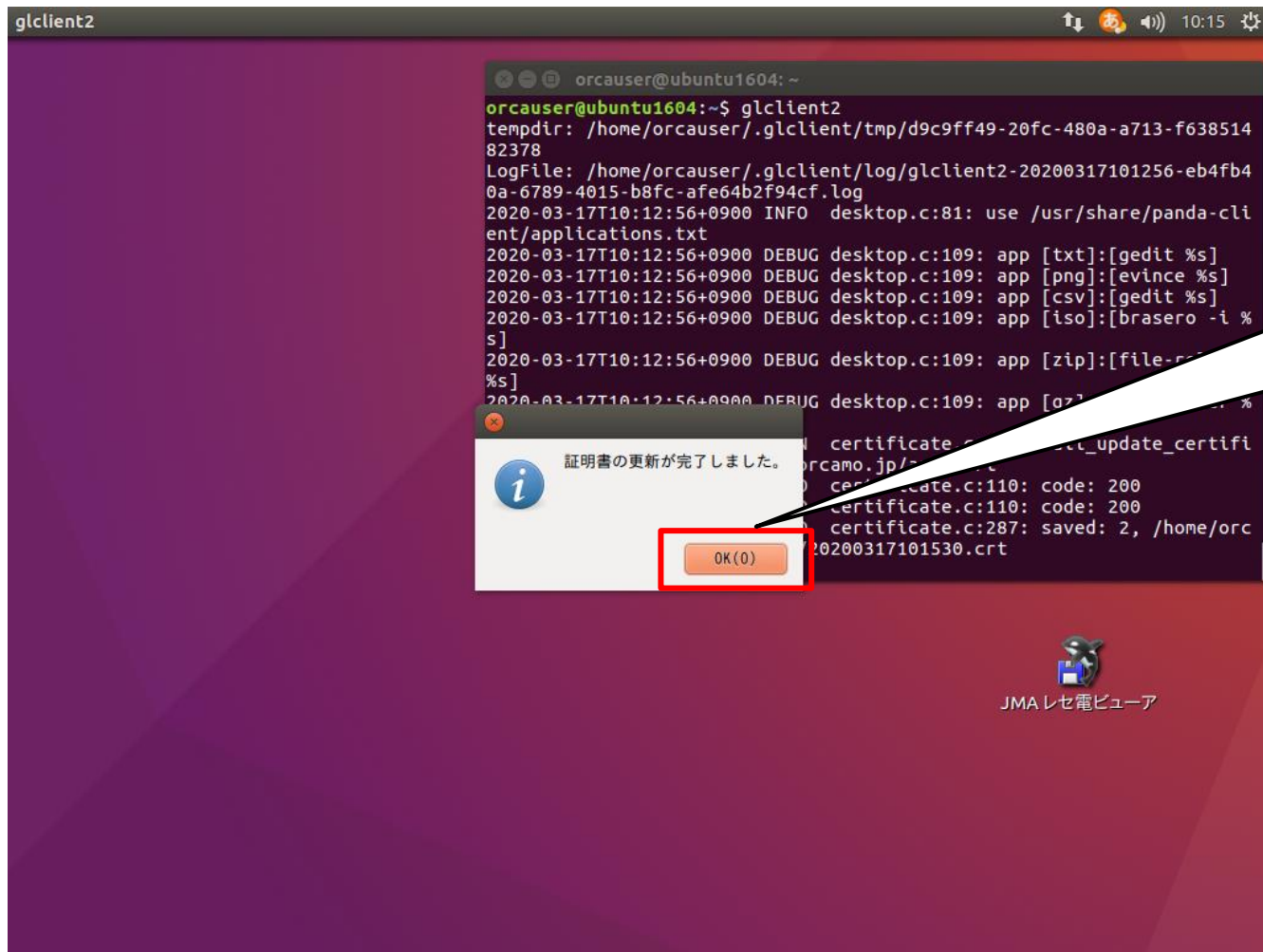


キャンセルボタンを押下した場合は、クライアント証明書の更新はおこなわず、そのまま日レセクラウドが起動します

クライアント証明書を更新する場合はOKボタンを押下

日レセクラウド

- glclient2 での画面遷移(証明書更新完了画面)



クライアント証明書の更新が完了し、OKボタンを押下すると日レセクラウドが起動します

日レセクラウド

- レセ電ビューア
 - 自動更新機能を実装したバージョン：2.2.7(2020年4月13日提供の) 以降
 - 有効期限が残り3ヶ月となった場合、更新ダイアログが表示される
 - 画面の誘導に従っていけば更新可能
 - 証明書は古い証明書を.yyyymmddという拡張子で退避した上で上書き保存
 - 自動更新後は、パソコン故障等による証明書紛失に備え、レセ電ビューアの設定画面で指定してあるファイルのバックアップを取得すること

日レセクラウド

- レセ電ビューアでの画面遷移(更新確認画面)



キャンセルボタンを押下した場合は、クライアント証明書の更新はおこなわず、そのままレセ電ビューアが起動します

クライアント証明書を更新する場合はOKボタンを押下

※画面はUbuntu環境ですが、Windows版も同様

日レセクラウド

- ・レセ電ビューアでの画面遷移(証明書更新完了画面)



クライアント証明書の更新が完了し、OKボタンを押下するとレセ電ビューアが利用可能です

※画面はUbuntu環境ですが、Windows版も同様

日レセクラウド

- API/DB接続サービス
 - 別紙のクライアント証明書更新API利用することで更新された証明書および証明書パスワードを取得することが可能

日レセクラウド(デモ環境)

- デモ環境はテスト目的としているため、サーバ側での有効残日チェックを1200日以上としている。(2020年5月18日設定変更予定)
- クライアント側で有効残日チェックを実行しているが、下記のように環境変数等を変更することで更新処理を試すことが可能。

– glclient2

- 下記のように端末から環境変数を設定した上でglclient2を実行することで証明書更新をおこなう有効期限からの期間(月)を指定できます。
\$ export GLCLIENT_CERT_EXPIRE_CHECK_MONTHES=60
\$ glclient2

– ORCAMOクライアント

- 追加システムプロパティに以下を追加した上でORCAMOクライアントを実行することで証明書更新をおこなう有効期限からの期間(月)を指定できます。
monsia.cert_expire_check_monthes=40

– レセ電ビューア

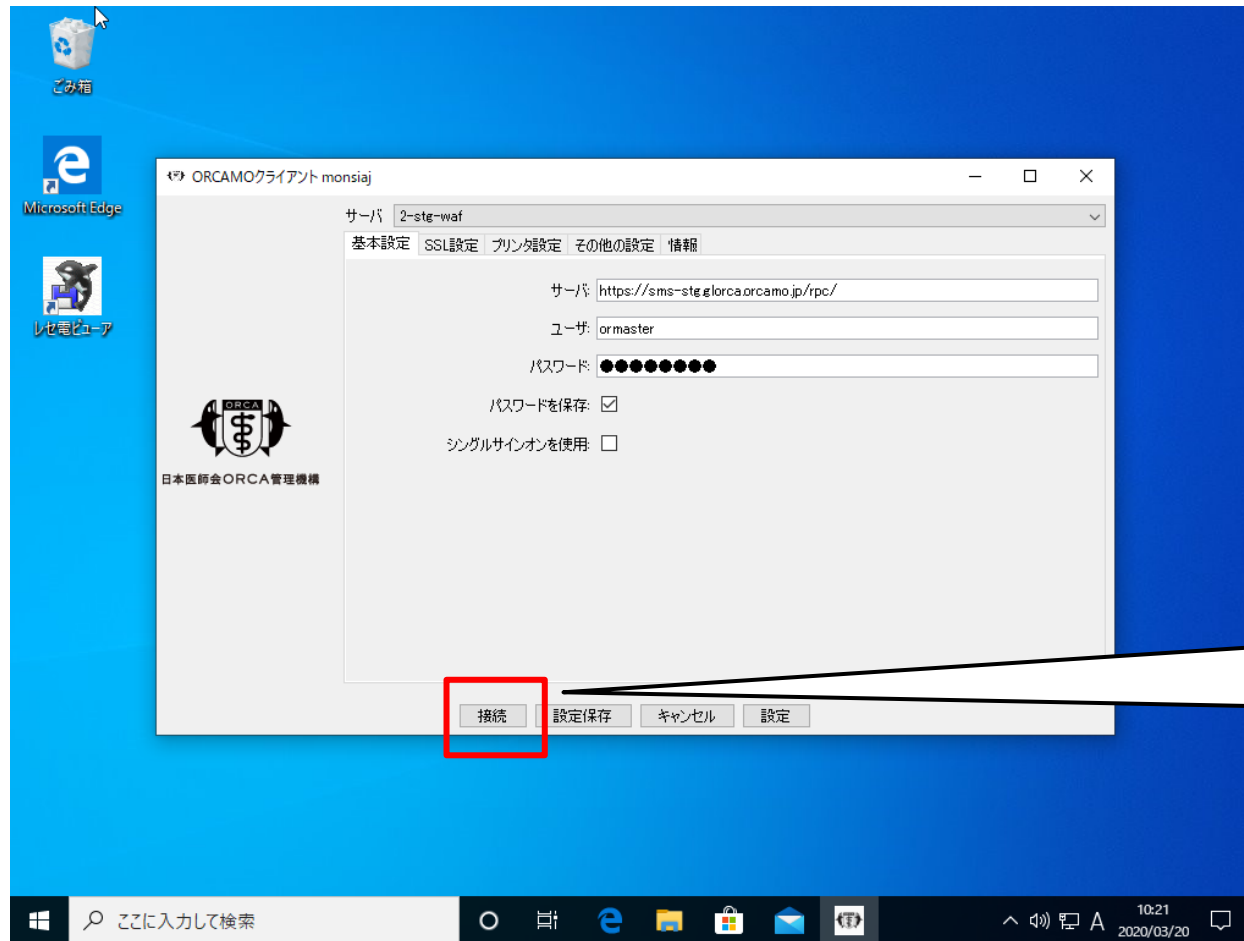
- 設定 – 接続設定 – APIタブの証明書自動更新時の確認日 欄にて指定できます。

給管帳クラウド

- ORCAMOクライアント(monsiaj)
 - 自動更新機能を実装したバージョン：2.0.26(2020年3月26日提供の) 以降
 - 有効期限が残り2ヶ月となった場合、更新ダイアログが表示される
 - 画面の誘導に従っていけば更新可能
 - 証明書は%userprofile%\monsiaj\certificatesに保存され、monsiajの証明書設定も自動更新される
 - 自動更新後は、パソコン故障等による証明書紛失に備え、以下のフォルダおよびファイルのバックアップを取得すること
 - %userprofile%\monsiaj\certificates フォルダ
 - %userprofile%\monsiaj\ monsiaj.jsonrpc.properties ファイル

給管帳クラウド

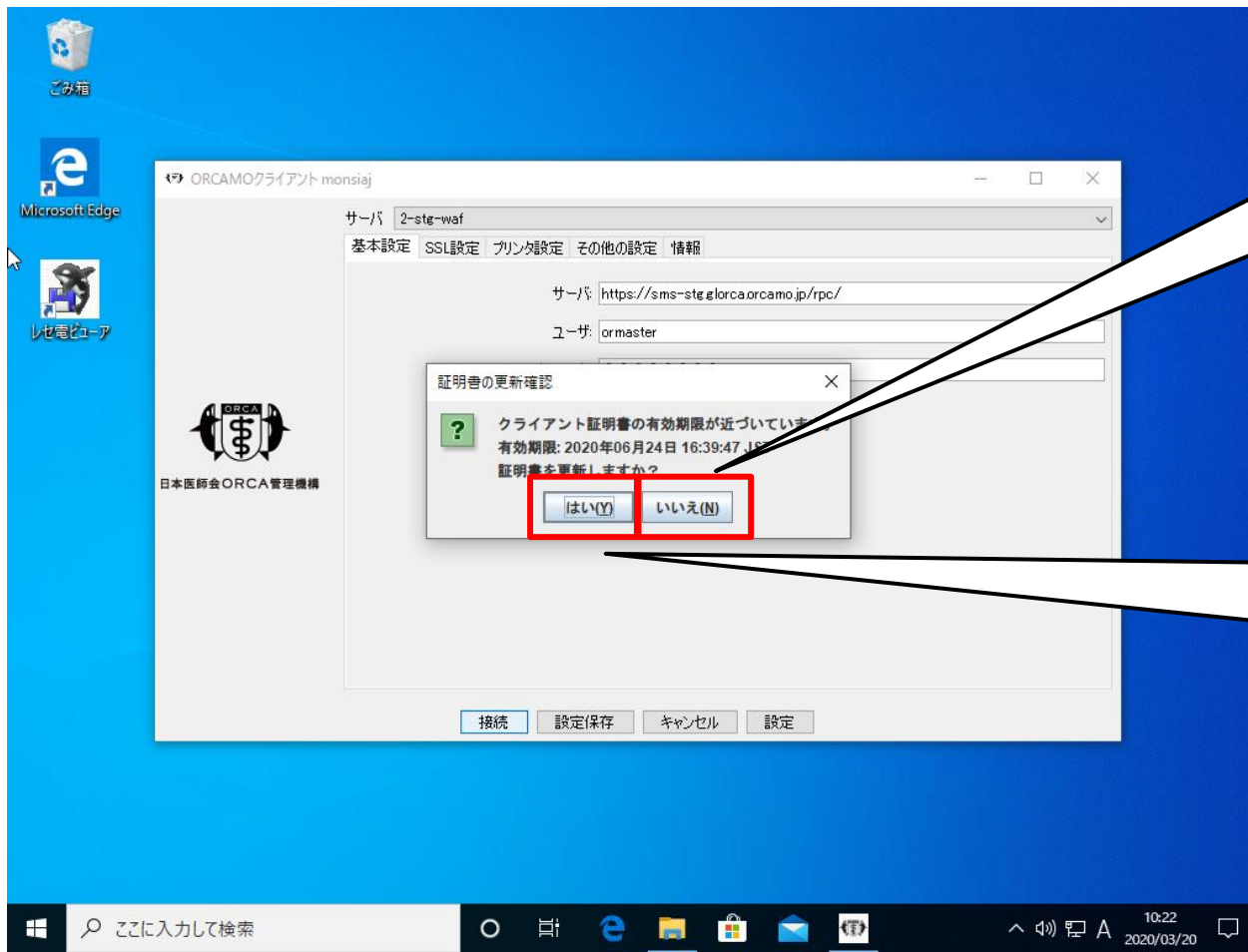
- ORCAMOクライアント(monsiaj) での画面遷移(ランチャー)



接続ボタンを押下

給管帳クラウド

- ORCAMOクライアント(monsiaj) での画面遷移(更新確認画面)

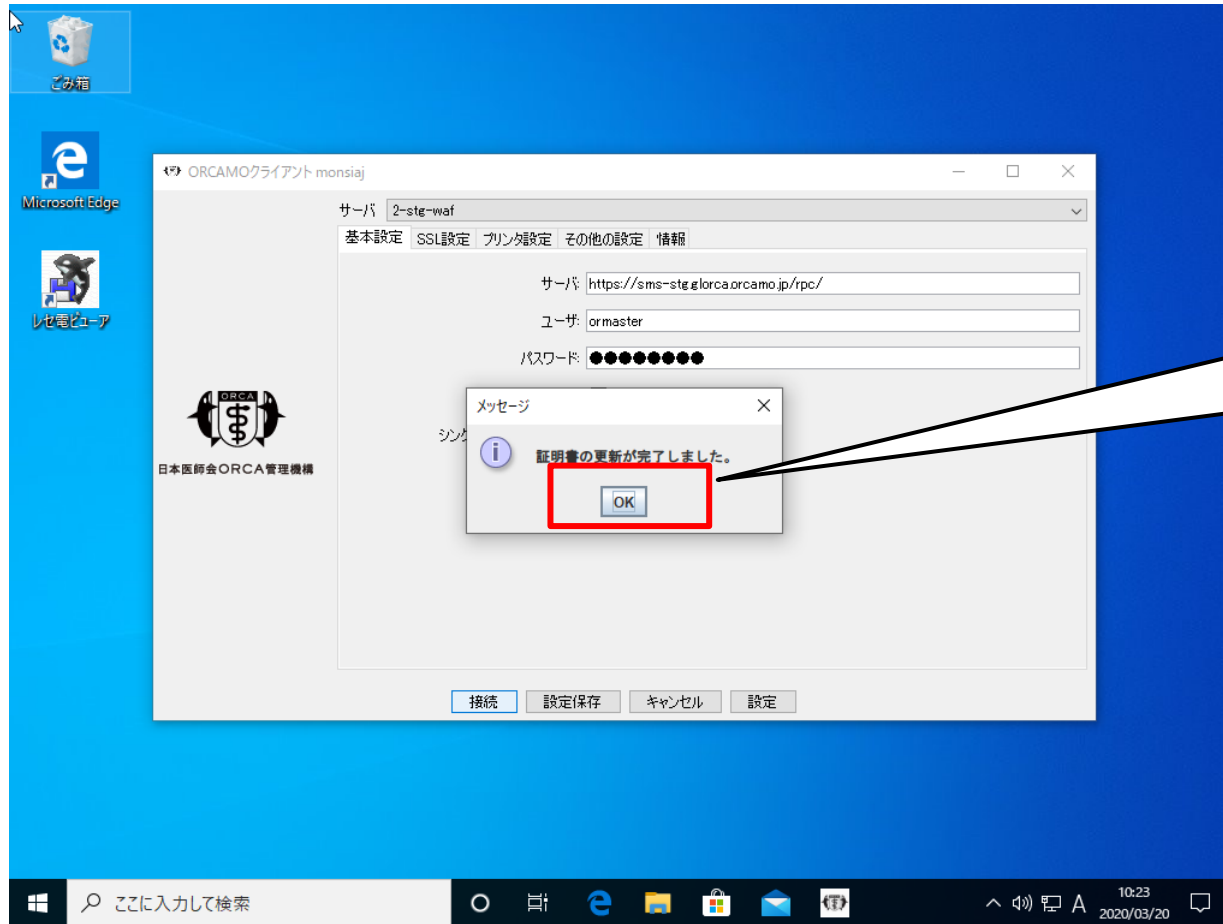


「いいえ」ボタンを押下した場合は、クライアント証明書の更新は起こならず、そのまま日レセクラウドが起動します

クライアント証明書を更新する場合は「はい」ボタンを押下

給管帳クラウド

- ORCAMOクライアント(monsiaj) での画面遷移(証明書更新完了画面)



クライアント証明書の更新が完了し、OKボタンを押下すると日レセクラウドが起動します

給管帳クラウド

- API
 - 別紙のクライアント証明書更新API利用することで更新された証明書および証明書パスワードを取得することが可能

-

仕様検討中のため確定次第、資料を更新する予定

WEBクライアント

-

仕様検討中のため確定次第、資料を更新する予定